



# B-uniiu



# **“ V I R T U A R A C I N G & O U T R U N E R S ”**

## **C D - 1**

- 1. Polygonic Continent**
- 2. Stream**
- 3. Center Run**
- 4. France**
- 5. Adventure**
- 6. Passing Breeze (1993)**
- 7. V.R. Medlay**
- 8. Sonic Control**
- 9. Splash Wave (1993)**
- 10. Last Wave (1993)**

**Composed by** 光吉猛修 (M1,2,3,4,5,7)  
ミヤウチヒロシ (M6,9,10)  
中村隆之 (M8)

**Arranged by** B-UNIV (M1,2,3,5,10)  
北島直樹 (M4)  
MST(M6,7)  
ホッピー神山 (M8,9)

**All songs sound produced & directed by** 伊藤ヨシユキ



# Musicians of CD-1

## 1. Poligonic Continental

**E.Gt** : 並木晃一  
**Key** : 光吉猛修  
**Bass** : 入江 "TARO" 直之  
**Dr** : 熊丸久徳  
**E.Vin** : Haward socks 93

## 2. Stream

**E.Gt** : 並木晃一  
**Key** : 光吉猛修  
**Bass** : ポールジャクソン  
**Dr** : 村上 "ポンタ" 秀一  
**sax** : 淵野繁男

## 3. Center run

**E.Ac.Gt,GR-1** : 並木晃一  
**Key** : 光吉猛修  
**Bass** : 入江 "TARO" 直之  
**Dr** : 熊丸久徳

## 4. France

**E.Gt** : 並木晃一  
**Key** : 光吉猛修  
**Pf** : 北島直樹  
**Bass** : ポールジャクソン  
**Dr** : 村上 "ポンタ" 秀一  
**sax** : 淵野繁男

## 5. Adventure

**E.Ac.Gt,GR-1** : 並木晃一  
**Key** : 光吉猛修  
**Bass** : 入江 "TARO" 直之  
**Dr** : 熊丸久徳  
**Perc** : ペッカー  
**Tp** : 水江 "ヨーカン" 洋一郎  
**Tp** : 川崎淳一  
**Tb** : 工藤隆

## 6. Passing Breeze

**E.Gt** : 並木晃一  
**Key** : 光吉猛修

## 7. V.R.Medlay

**E.Gt** : 並木晃一  
**Key** : 光吉猛修

## 8. Sonic control

**E.Gt** : 並木晃一  
**Syn, sample, effects, Grum-pot** : ホッピー神山  
**Tb** : 松本治  
**Turn table** : 大友良英

## 9. Splash wave

**E.Gt** : 並木晃一  
**Syn, sample, effects, Grum-pot** : ホッピー神山  
**Tb** : 松本治  
**Turn table** : 大友良英

## 10. Last wave

**Ac.E.Gt** : 並木晃一  
**Key** : 光吉猛修  
**Bass** : 入江 "TARO" 直之  
**Dr** : 熊丸久徳





V.R.

Virtua Racing

\*AD 1992\*





皆さんお待たせいたしました。巷を賑わせたあのポリゴンレーシングゲーム“**Virtua-Racing**”のCDの発売です。ゲームの発売からは、だいぶ遅れてしまいましたが、このCDがやっとお届けできたと言う事で、大変喜んでおります。今回のアルバムはアレンジバージョンはもちろんですが、私が一番聞かせたいのは、最新のサウンドボードから流れるオリジナルバージョンです。今までのゲームボードでは考えられない程のハイクオリティのサウンドに、皆さんは驚かれるのではないのでしょうか？近頃のアミューズメントセンターは、あまりにもうるさくて、「ゲームの音もなかなか聞き取れない」と感じる方も多いのではないのでしょうか？こうした問題も徐々に解決して行きたいと我々は考えています。セガの未来を期待して下さい。また、95年春には発売されるMD版“**V.R.**”も楽しみにして下さい。



# "VIRTUA RACING & OUTRUNERS"

## CD - 2

Original Sound Captured from SEGA's Sound Boards

- 1 .Waiting Your Entry
- 2 .Course Serect
- 3 .Beginner
- 4 .Medium
- 5 .Expert
- 6 .Extend Time - 1
- 7 .Best Lap - 2
- 8 .Extend Time - 2
- 9 .Best Lap - 3
- 10 .Extend Time - 3
- 11 .Best Lap - 4
- 12 .Extend Time - 4
- 13 .Best Lap - 5
- 14 .Extend Time - 5
- 15 .Pit Out
- 16 .Pit In
- 17 .Goal
- 18 .Game Over
- 19 .Name Entry
- 20 .Congratulations - 2
- 21 .Mega Driver
- 22 .Magical Sound Shower (1993)
- 23 .Passing Breeze (1993)
- 24 .Splash Wave (1993)
- 25 .Picture the Rivers
- 26 .Blow Your Cool



- 
- 27 .Looking for the Rainbow**  
**28 .Speed King**  
**29 .Adventure**  
**30 .Sonic Control**  
**31 .Last Wave (1993)**  
**32 .Meaning of the Light (game over version)**  
**33 .Dream Flying**  
**34 .Stage 0 -Start**  
**35 .Stage 1 -Grand Canyon**  
**36 .Stage 2 -San Francisco**  
**37 .Stage 3 -South America**  
**38 .Stage 4 -Niagara**  
**39 .Stage 5 -Hawaii**  
**40 .Stage 6 -Pacific Ocean**  
**41 .Stage 7 -Spain**  
**42 .Stage 8 -Atlantic Ocean**  
**43 .Stage 9 -Switzerland**  
**44 .Stage 10 -China**  
**45 .Stage 11 -Japan**  
**46 .Stage 12 -Hong Kong**  
**47 .Stage 13,20 -Egypt**  
**48 .Stage 14,19 -Mediterranean Sea**  
**49 .Stage 15,18 -France**  
**50 .Stage 16,17 -Germany**  
**51 .Stage Final**

**Composed, Arranged & Programmed by**

**光吉猛修 (M1 to M20)**

**中村隆之 / ミヤウチヒロシ / 光吉猛修 (M21 to M51)**



## 並木 晃一

Guitar, Computer

1965年4月15日生まれ千葉県出身

血液型O型

アラン・ホールズワース、スコット・ヘンダーソン等の影響を感じさせる“レガート奏法”をメインとしたギタースタイル。又、メカ好きが効じてか、シンセサイザーや、シーケンサーのオペレート等、エンジニアリングにも非常に長けている。

中学生時代はブラスバンドでアルトサックスを担当。15才より独学でギターを始める。

以降、地元で数多くのアマチュアバンド活動を行ない、85年上京。87年3月セガ社入社。

88年、S.S.T.バンド結成。“ギャラクシーフォース”でアルバムデビュー。以降5年間で2枚のベスト盤、2枚のライブ盤、3枚のミニアルバムを含む、13枚のアルバムをリリース。

自他共に認める工作オタク。彼の使用する楽器はギターはもちろん、アンプからエフェクターに至るまで彼の手によって改造され、修理もこなす。ライブではMCも担当。

# B-U





# niv

## 光吉 猛修

Keyboard, Piano, Computer

1967年12月25日生まれ福岡県出身

血液型O型

リモートキーボードの担ぎ方、バンドの使い方、フレーズは、やはり彼の心の師だという、チック・コリアからの影響は隠せないところ。16才の時、始めてキーボードを手にし、翌年より本格的にピアノのレッスンを開始する。高校、大学と仙台で過ごし、地元のフュージョンバンドで活動。

1990年4月セガ社入社。

翌年リリースアルバム“フォーミュラ”よりS.S.T.バンドに加入。

作曲、演奏能力もさることながら、ライブパフォーマンス、ボーカルにも定評がある。真面目で一本気な性格だが、どこか必ず一本抜けている。超時間厳守で、過去最高2時間前からスタジオ入りしていたこともある。天下無敵の方向オンチ。3日間通ったスタジオでも必ず帰りは迷子になるらしい。意外と小心者。





今年8月の、あの解散(?)宣言から早、数ヶ月、実はそれと前後して密かに、このプロジェクトは、進行していました。ファンのみなさん、黙っててゴメンネ。では、簡単に各曲を解説してまいりましょう。

まず1曲目は**Polygonic continent**。

この曲は、前のバンドで一度やっているから、知っている人も多いはず。華々しいイントロは、まさしくオープニングに相応しいナンバーですネ**Drums**には前のバンドから、熊ちゃんに来てもらいました。**Bass**は、“たろーちゃん”こと入江直之氏です。(なぜ、たろーちゃんというのか、本人もよくわからないらしい)今後、この二人の新リズム隊コンビに御期待ください。

2曲目は、**Stream**。

これも8月に演ってる曲です。**Drums**には村上“ポンタ”秀一、**Bass**にポールジャクソン(父)という我々の世代のクロスオーバー(フュージョン)野郎共には涙が出そうな人選です。一音一音の説得力が違いますネー!やっぱり。今回のレコーディングで。一番テンションが上がった曲です。

次は**Center Run**。

コースセレクトという、地味なシーンの曲だけど、我々の手にかかれば、こんな具合になってしまうわけですネ。リズム隊は、“くまたろコンビ”です。最後の怪しげな音の**SOLO**は、今回初挑戦のギターシンセ(**Roland GR-1**)を使用しております。でもパットメセニーにはなれなかったみたい…

御次ぎは**France**。

**Outrunners**でフランスのコースの**BGM**だから**France**。そのまんまです。リズム隊に“ポンタ、ポール”コンビ、+**piano**北島、**sax**淵野というメンツで、アレンジは北島氏に御願いました。

大人のサウンドのなかに必死で食い下がろうとする若者二人の**SOLO**がけなげではありませんか。(緊張のあまり、光吉は鼻血を出した)

そして、今回のハイライトとも言うべき曲**Adventure**。

くまたろコンビに、**Percussion**のペッカー、そして**Brass Secssion**の、工藤、水江、川崎の三人。

最初打ち込みだったベーシクトラックが、どんどん生に変わり、魂が入って行く様はまるで“マジック”の様でした。

**Passing Breeze**と**VR**メドレーは、討って変わって**95%**打ち込み。

**Basic**を**MST**の方々に御願ひし、その上から色々ダビンクしまくって遊んでいます。気分的には一番楽でした。ホッピー神山氏のアレンジは私にとって未知なる世界。音符らしき物が見当たらないホッピー氏の譜面にとまどいながら、ひたすら氏の降り卸される右手の合図を待つ私はただの小心者。終了後、家路に向かう愛車のハンドルを握る私は、自分という人間の小ささ、無力さに、痛感の思いでした。

さあ、そして最後を飾るのはまさしく最後、**Last Wave**。

リズム隊は、“くまたろコンビ”です。この曲のアレンジを待っていた人も多いのでは? やっぱりオベーション使ったのは正解でした。スタインバーガーじゃ、いただけません。光吉も**Rhodes**はいつもの**MK-80**じゃなくて、“本物”を使ったし。**MK-80**もいい楽器だけど、やっぱり本物のちょっと歪かけた古臭いサウンドは不滅であって欲しいですね。今度はストリングスも、**MOOG**のソリーナ使おう!


と、駆け足で紹介してきましたが、今後、しばらくの間、この二人のユニットでアルバム創りや**LIVE**活動をしていきますので、**S.S.T.BAND**同様、応援してください。

(文) **B-UNIV** 並木こういち  
光吉たけのぶ









O.R.

OutRunners

\*AD 1992\*





“アウトランナーズ”は92年の秋口から担当した仕事でした。初代の“アウトラン”は、ご存じの通り大ヒットしたゲームでしたから、出来ればこのゲームも大ヒットさせたいという気持ちで一杯だった事を思い出します。それだけに、全世界で発売され、多くの方に遊んで頂けた事は非常にうれしく思います。

そして、ここに“アウトランナーズ”が、CDとして発売されました。30曲にも及ぶ曲のほとんどが収録され、“V.R.”と共に多くのファンの方が、このCDを楽しんで頂ける事を心から願います。

最後に、“アウトランナーズ”を担当したスタッフを初め、第一、第四AM研究開発部の皆さん、また、多大なアドバイスをくれたサウンド開発課の皆さんに感謝を申し上げます。

1994年10月 中村隆之



元々フュージョン・ミュージックは、「融合」する音楽という意味だと思わんですが、音楽にしる何にしる、物事が「融合」してしまうとどうしても“リスク”を恐れてしまう様になる。“リスク”を恐れた音楽にはテンションが無くなり、本来のフュージョンたりえるインタープレイが失われていきます。

今回のセッションは、**B-UNIV**のメンバーが音楽家として新たに立脚する視点を見つけるプロローグになる為の様々な試みであり、その為の“リスク”を好んで選択しています。

勿論、今回のアルバム全体は、ゲームミュージックが本来ゲームプレイと「融合」されたインタープレイと考える方もそうでない方も楽しめる、一流のオリジナルサウンドも同じ様に収録され、皆さんの耳に快く届く様、構成されています。

21世紀に向けて様々なアミューズメントの融合化が進められる予感がしますが、**B-UNIV**の新たな視点は、まさにそこを見据えているものだと確信します。

音楽プロデューサー・江口勝敏（談）



**Recorded at MIT Studio, Youmex Studio**

**Mixed at Cherry Island Studio**

**Except M8,M9 at Gok Studio**

**Engineered & Mixed by 福田政賢、伊藤ヨシユキ**

**Except M8,M9 by 近藤祥昭**

**Mastering Engineer 小泉純二 (Studio TERRA)**

**Executive Producer : 藤田純二 (YOUMEX)**

**Producer : 江口勝敏 (PCM COMPLETE)**

**Product Coordination : 竹内宏彰 (Think)**

**Art Direction & Illustration : 松本 正 (D-unit)**

**Photograph : 梅津文彦 (Umbra)**

**Hair-Make : 吉田智子 (Ganéssha)**

**Special Thanks to : SEGA, YAMAHA R&D TOKYO**





●CDを直射日光の当たる所や暖房器の近くなど温度の高い場所に置きますとそりを生じることがあります。 ●また高温・多湿な場所には保管しないで下さい。